

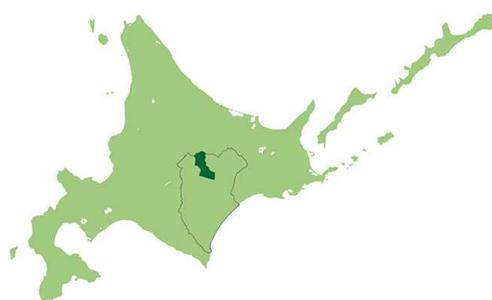
地域と学校を結ぶ

社会教育発のコミュニティ・スクール導入

北海道上士幌町教育委員会生涯学習課
社会教育主事 高橋 克磨



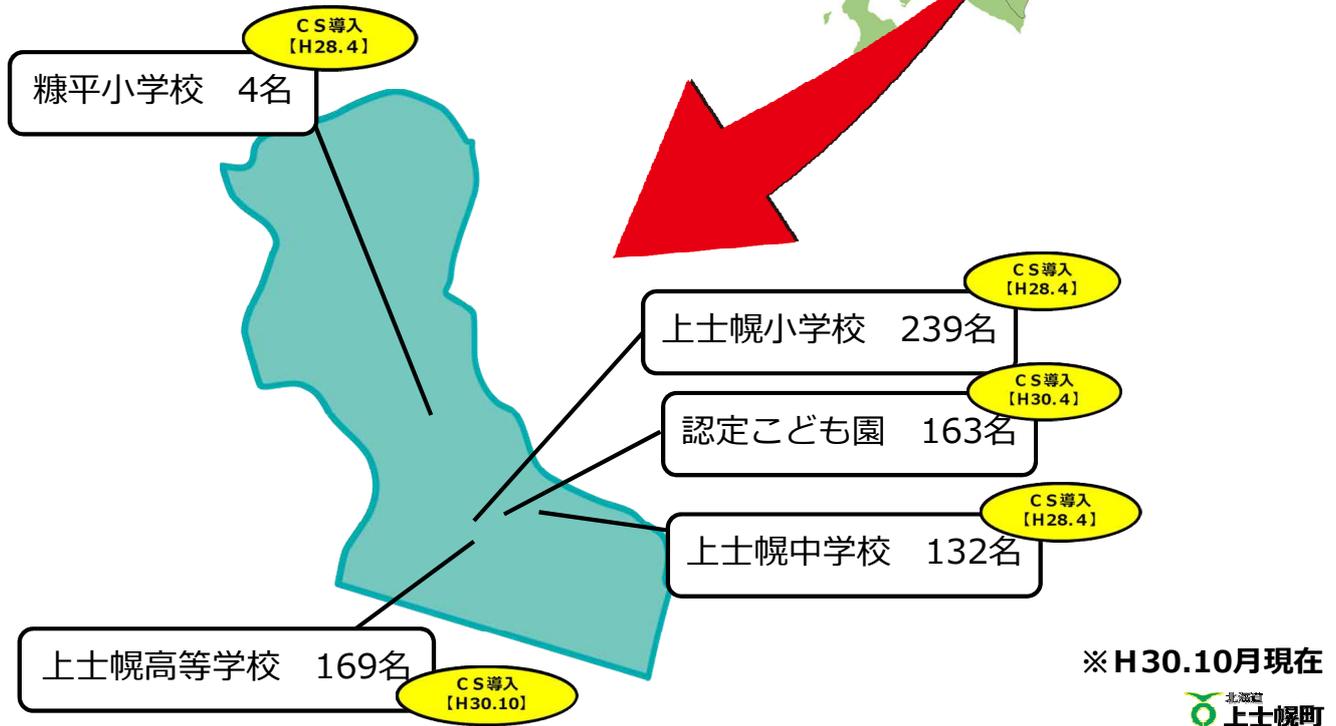
上士幌町の概要



- 北海道十勝地方の北部
大雪山国立公園の東山麓に位置（町内の約76%が森林地帯）
- 面積 約696km²
- 人口 5,017人 2,543世帯（H30年9月末）
- 産業 農業や林業などの第一次産業
旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群などの観光業
- ふるさと納税
H29年度実績 約16億6千万円
 - 主な活用事業
 - 町認定こども園の保育料10年間無料化（H28年4月～）
 - 公営塾の開設。授業料を無料化（H28年7月～）



上士幌町の学校



上士幌町がCSを導入した背景

上士幌町総合戦略 5つの基本目標

- 1 地場産業で地域の活力を生み出すまち
- 2 子育て・教育の充実したまち（幼→高）

【施策】

○豊かな子育てを支える質の高い学力・
体力・多様な体験機会の体系化

～実施予定事業～

上士幌町子ども教育ビジョンの具現化

→【地域全体で取り組む

「かみしほろ学園構想」】

- 3 健康で安心して暮らせるまち
- 4 移住定住による人口減少をくい止めるまち
- 5 小さな拠点の形成を目指すまち

学力・体力・
体験機会

北海道トツプレベルへ



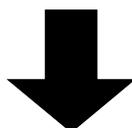
上士幌町子ども教育ビジョン（H26年12月策定）

学校教育目標

「健康で明るく、知性に富み、自主的で協働を愛するたくましい子」

社会教育目標

「豊かな心情と健康な体を持ち、自らを高め、住みよい郷土をつくりだす人」



この目標を達成するため・・・

具体的な“**目指す子ども像**”を定め、おおむね10年後を見据えた教育環境の整備や施策をまとめた



子ども教育ビジョンで定める「目指す子ども像」

- 1 確かな学力と応用力を身に付け、夢に向かって人生を歩むことができる子
- 2 郷土の歴史を学び、伝統・文化を大切にし、郷土を誇れる子
- 3 厳しい環境に負けない、たくましい心と体を持つ子
- 4 豊かな発想力を持ち、自分の考えを表現できる子
- 5 お互いの個性を認め尊重し合い、思いやりと感謝の気持ちを大切にできる子

かみしほろ学園構想

上士幌町子ども教育ビジョンで定める“目指す子ども像”をどのように**具現化**していくか、具体的な施策をまとめたもの

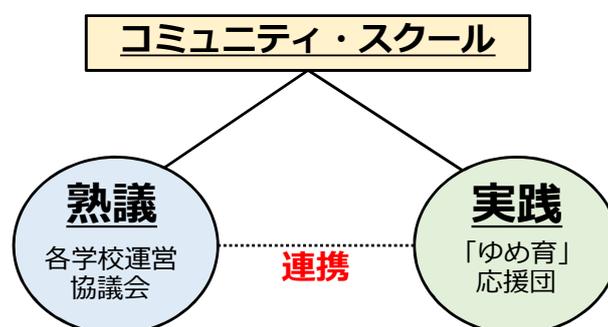
2つの基本理念

基本理念1：幼児から高校生まで一貫性のある教育環境づくり

基本理念2：地域総ぐるみで子どもの育ちに関わる仕組みづくり

コミュニティ・スクール制度の活用

「ゆめ育」応援団の設立



上士幌町のCS立ち上げ

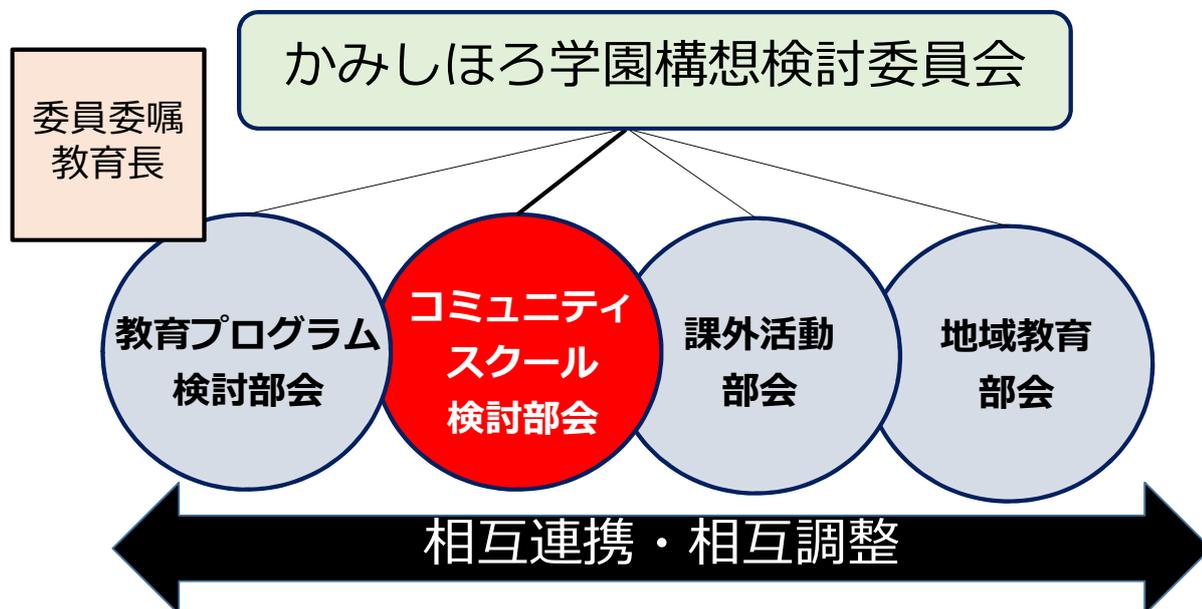


熟議

各学校運営
協議会

かみしほろ学園構想検討委員会について

上士幌町において、学校・家庭・地域がそれぞれの責任と役割を果たしつつ、**上士幌町子ども教育ビジョン（H26,12策定）**で定める目指す子ども像を実現するための具体的な手法を検討し、構想を策定する委員会



コミュニティ・スクール検討部会の部会員

上士幌中学校教頭
連合PTA会長
上士幌中学校教諭
複式研会長
主任児童委員
社会教育委員副委員長
小中学校評議員
行政区長
校長会副会長



コミュニティ・スクール検討部会の 基本的な考えについて

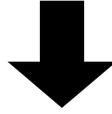
地域が学校を盛り上げ、
元気な学校が地域の活性化を生む
好循環システム



コミュニティ・スクール検討部会のミッション

ミッション①

「広く町民にCSを周知し、理解・促進を図る」



実際の方法

○地域への説明

- 行政区長会議
- 町連合PTA
- 社会教育委員
- 保護者（参観日の全体懇談会）
- 商工関係者（企業等）



コミュニティ・スクール検討部会のミッション

実際の方法

○町広報誌を活用した周知

→H27年12月から掲載

メンバー1の教育環境を目指して！
～かみしほろ学園構想検討委員会の検討状況報告①～

上士幌町では、町「上士幌町子ども教育ビジョン」を策定し、実現に向けて取り組んでいます。今年度は、このビジョンを踏まえ、町民のみなさんに広く周知し、理解と協力を得ることを目指しています。その一環として、検討委員会が「かみしほろ学園構想検討委員会」を設置し、検討を進めています。今回は、この検討委員会の活動についてご報告いたします。

1. コミュニティスクール制度について

コミュニティスクールとは、「学校運営協議会」という会費を設けず、学校で行う教育活動に、町民のみなさんの意見を反映させていくための制度です。「学校運営協議会」は、保護者、町民のみなさん、学校側や教職員などで構成し、次の3つの役割を担います。

①教育が作成する学校運営の基本方針を承認する
②学校の教育活動に意見を言うことができる
③教職員の人事に意見を言うことができる

これに加えて、学校の活動に町民のみなさんが話し合う、だけでなく、学校や町民のみなさんの意見の場として、子どもや大人が学び合っている仕組みづくりが得意な町、検討しています。

2. 上士幌町でのコミュニティスクールの導入について

「かみしほろ学園構想検討委員会」は、このようにして検討を進めていく予定です。その一環として、検討委員会が「かみしほろ学園構想検討委員会」を設置し、検討を進めています。今回は、この検討委員会の活動についてご報告いたします。

3. 今年度から4月1日（初年度）の小学校に導入する
今年度から4月1日（初年度）の小学校に導入する。今年度から4月1日（初年度）の小学校に導入する。今年度から4月1日（初年度）の小学校に導入する。

学校運営協議会委員会
合同委嘱式・研修会・第1回会議を同日開催！

4月1日（初年度）の小学校に導入する。今年度から4月1日（初年度）の小学校に導入する。今年度から4月1日（初年度）の小学校に導入する。

上士幌町教育委員会の事業紹介

今年度から4月1日（初年度）の小学校に導入する。今年度から4月1日（初年度）の小学校に導入する。今年度から4月1日（初年度）の小学校に導入する。

かみしほろCS（コミュニティスクール）レター

きずな

かみしほろCS（コミュニティスクール）レター

かみしほろCS（コミュニティスクール）レター

かみしほろCS（コミュニティスクール）レター



コミュニティ・スクール検討部会のミッション

実際の方法

→ SNS を活用した情報発信 (現 5 校長のつぶやき)



コミュニティ・スクール検討部会のミッション

実際の方法

→ 学校だより等の活用

～夢と希望を思い求め 学びを探究する学校～

創造 上小だより

考える子 つよい子 あかるい子 やさしい子 (学校教育目標)
平成30年度 No.10 (5/1)

■学校運営協議会委員同研修会(4/26)
◎学校運営協議会委員さんの紹介 (新しく取組小学校学校運営協議会から上土幌小学校の委員になった豊原研さんに加え、さらにパワーアップした3年目を迎えた学校運営協議会委員です。)

学校運営協議会委員の皆さんがそれぞれ思いを込めて今年度が始まりました。学校運営協議会の働き、活動について、子供たち、保護者、地域の皆さんに知ってもらえるように活動をしようと取り組んでいます。7日にさらに具体的な話し合いを進めます。

■上小っ子タイム読み聞かせ

6月21日(木)上小っ子タイムの時間に、保里明子さんと福澤美佳さんが1年生のそれぞれの教室に読み聞かせにきてくれました。図書室で簡単に打ち合わせの後、それぞれのタイミングで教室へ

1年1組は福澤美佳さんが「ますだくんの1ねんせい白配」作・絵: 武田 美穂/出版社: ポプラ社を読んでくれました。お話に出てくる登場人物に自分を投影しながら、楽しんで読んでくれました。福澤さんありがとうございました。

1年2組は保里明子さん。「あんとんかけたら」作・絵: かがい ひろし/出版社: ブロンズ新社でつかみほっちゃん。立ち上がったあんな様子が現れました。また、この日は特別ゲスト、「こんとあき」作: 林 明子/出版社: 福音館書店の登場人物「こん」も登場!絵本の中からでてきたような再演版に、先生もびっくりしていました。「大丈夫、大丈夫」が口癖のこのように、おどろかす雰囲気も教室が伝わりました。保里さん、ありがとうございました。

■みんな真剣です。家庭科の授業

5年生はハタン付けの練習中 6年生は「給食の献立で野菜め各

～夢と希望を思い求め 学びを探究する学校～

創造 上小だより

考える子 つよい子 あかるい子 やさしい子 (学校教育目標)
平成30年度 No.62 (9/3)

13日(5時間目) 参観授業です。14:30からPTA講演会もあります。ご参加下さい。3次案内配信中

■あいさつ運動に参加してみませんか

上土幌小学校学校運営協議会(CS)では、あいさつ運動を推進して、子供たちと地域が触れ合いになり、そのことで、安心に生活し、思いやりを育むこと、そして、7月5日にCSやゆめ館の皆さんにも声をかけ、あいさつ運動を推進しました。2学期は、更にPTAの皆さんも一緒にできたらと思います。

■あいさつ運動

「おはようございます!」
元気なあいさつ、一日を楽しくスタート!
「自ら進んであいさつ出来る子ども達になってほしい!」
そのために、
発表しよう!大人のかけこみ!!
自分も、相手も、みんなhappy
笑顔から笑顔、さあ、ニコリ

■広まよう!学校の「輪」(伝えよう地域の「力」)

自宅前や、運動場中庭など、学校に集まるいろいろな「場」に活動しましょう!!

上土幌町CS(学校運営協議会)×PTA×地域の皆さん

- 日程 平成30年9月14日(金)、10月16日(金)、11月14日(金)、12月14日(金)
- 時間 午後7時40分～午後8時10分
- 場所 上土幌小学校 運動場
- 参加料 不要です。「お申し込み」で8割に減額のご参加も可能です。自宅前や運動場中庭などご都合の良い日時や、CS3-3-1001-100 (090-9511-4008)までお問い合わせください。

コミュニティ・スクール検討部会のミッション

実際の方法

→教職員への説明

生涯学習課（社会教育主事）が各学校で説明

- 来年4月から導入する（**決定事項**・・・委員会が指定する）
- 説明内容 ① CSの基礎・基本について説明
 - 学校運営協議会制度の主な機能
 - 基本方針の承認（**必須**）
 - 学校運営に意見
 - 教職員の任用に関して意見
 - ② CSがもたらすであろう効果について説明
 - CS導入により教職員の向き合う時間増
 - 生きた教材を提供できる可能性大



※学校にプラスなことを中心に。前向きに。



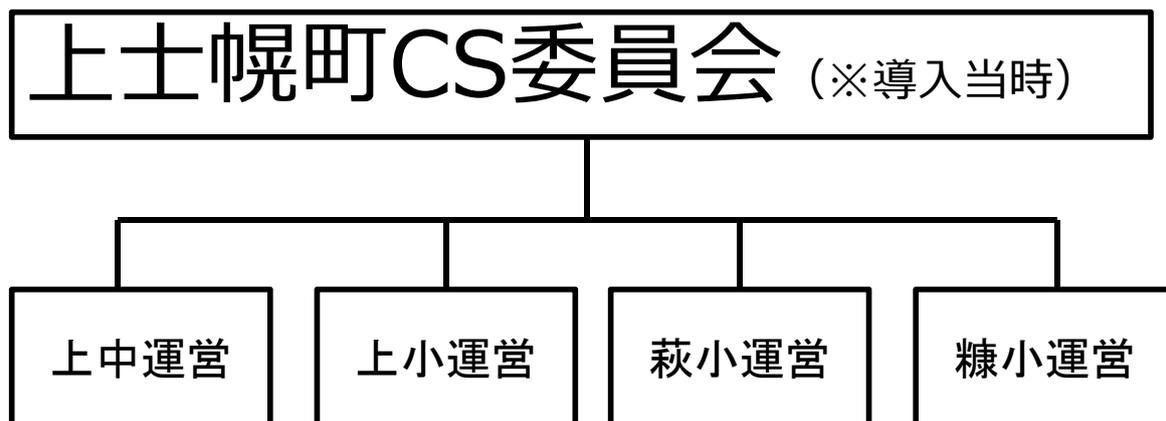
コミュニティ・スクール検討部会のミッション

ミッション②

実際の運営方法について、方向性を定める

1) 上士幌町CS委員会の設置

各学校運営協議会が連携をもち、全町的に町民が活動に参画できるよう設置



委員の構成：各協議会会長・副会長、各学校長、社会教育委員会会長・副会長、生涯学習課職員



コミュニティ・スクール検討部会のミッション

2) “熟議”の方向性

目的やテーマをもって会議を開催し、熟議をもって学校運営に参画

4月下旬	<ul style="list-style-type: none">・学校運営の基本方針の承認・学校の年間計画の共有・1年間のCS運営の計画・1学期のCS運営の計画 他
7月末	<ul style="list-style-type: none">・1学期の取り組みの振り返り・2学期のCS運営の計画 他
12月末	<ul style="list-style-type: none">・2学期の取り組みの振り返り・3学期のCS運営の計画 他
2月末	<ul style="list-style-type: none">・1年間の取り組みの振り返り、評価・新年度に向けた意見徴収 他

※年度初めと年度末には、コミュニティ・スクール研修会を教育委員会が開催し、CSについての知識を深めるとともに、各協議会の運営内容の共有等を実施。

コミュニティ・スクール検討部会のミッション

2) “熟議”の方向性 実際は・・・

※上小学校運営協議会の場合（H28年度）

4月11日	<ul style="list-style-type: none">・<u>学校運営の基本方針の承認</u>・<u>学校の年間計画の共有</u>・<u>学校運営協議会の体制</u>・<u>1年間のCS運営方針</u>
7月14日	<ul style="list-style-type: none">・<u>2学期のCS運営の計画</u>
10月12日	<ul style="list-style-type: none">・<u>学校評価</u>・<u>職員任用の具申</u>・<u>「ゆめ育」応援団の活用について</u>
1月24日	<ul style="list-style-type: none">・<u>コミュニティ・スクール研修会</u>・<u>各協議会の交流</u>・<u>評価について</u>

コミュニティ・スクール検討部会のミッション

3) “CSコーディネーター”の配置

町の特性を活かした取り組みを進めるための環境整備

① CSコーディネーターの身分

- ・ 地域おこし協力隊（総務省） ※任期は3年
- ・ 教育委員会生涯学習課配属
- ・ 上士幌小学校で勤務
（現在は、小学校【週2日】 中学校【週1日】 教委【週2日】）



コミュニティ・スクール検討部会のミッション

② CSコーディネーターの業務

- ・ CSレター（きずな）の作成

8月の行事予定 2学期ももりもり頑張ろう！ 今日一日に全力投球！！

日	行事内容	担当者
1日	8月1日(月)	
2日	8月2日(火)	
3日	8月3日(水)	
4日	8月4日(木)	
5日	8月5日(金)	
6日	8月6日(土)	
7日	8月7日(日)	
8日	8月8日(月)	
9日	8月9日(火)	
10日	8月10日(水)	
11日	8月11日(木)	
12日	8月12日(金)	
13日	8月13日(土)	
14日	8月14日(日)	
15日	8月15日(月)	
16日	8月16日(火)	
17日	8月17日(水)	
18日	8月18日(木)	
19日	8月19日(金)	
20日	8月20日(土)	
21日	8月21日(日)	
22日	8月22日(月)	
23日	8月23日(火)	
24日	8月24日(水)	
25日	8月25日(木)	
26日	8月26日(金)	
27日	8月27日(土)	
28日	8月28日(日)	
29日	8月29日(月)	
30日	8月30日(火)	
31日	8月31日(水)	



第2回学校運営協議会(糠平小)

糠平小学校運営協議会独自の取組として、
 ①「思いやり」に関する三行詩（標語）の募集
 ②ダムカレーアイデア募集（調理実習と試食も検討！）
 ③学習発表会とトークの日のコラボ企画
 について、目黒校長先生のアイデアを元に、委員さんが意見を出し合いました。
 学校の情報は、「5校長のつぶやき」だけでなく、『ぬかびら源泉郷の（小さな）小学校』でも発信します！
 ぜひ見てくださいね～♪



みんなの力で、みんな笑顔に！！（上小学校運営協議会CS）
 7/5（木）認定こども園・上小・上中の学校運営協議会委員、ゆめ育、民生委員さんが集まり実施！
 上小CSの今年のテーマは、「広めよう 学校の『輪』 伝えよう 地域の『力』」★
 町民の皆さんの様々な参画をいただきながら、「地域とともにある学校づくり」を進めています！
 ①「あいさつ」運動 ～ 玄関前で実施。児童会の子も達とコラボして元気に行いました！！
 ② 缶バッジ作り ～ これからの活動についてアイデアを出しながら、120個作りました♪
 ③「カッコウ」さん読み聞かせを見学 ～ カッコウさんの「技」をみんなで学びました！！



コミュニティ・スクール検討部会のミッション

- ・ 学校と地域の連絡調整（コーディネート）
 - 各学校運営協議会から依頼された事案のコーディネート
 - 当該校長の求めに応じた関連業務
 - 各教職員から依頼された事案のコーディネート
例：校外学習先（農業体験や自然体験等）との連絡・調整 など
- ・ 「ゆめ育」応援団関連業務
 - 「ゆめ育」応援団への登録（手続き関係）
 - 登録している応援団との協働活動をコーディネート

現在となっては、上士幌町のCSを進めていく上で、なくてはならない存在



コミュニティ・スクール検討部会のミッション

～導入に向けた取り組みまとめ～

- 学校や地域への理解を促進
 - CSの指定は、教育委員会・校長の親切な説明が必要
- 学校や地域の負担にならないような運営
 - CSコーディネーターを中心に、「教員の困り感」を解消し、「地域之力」を効果的に活用できるよう運営していくことが重要
- 核になる人間の熱量
 - 目的は子どもたちのために。学校・地域とのコミュニケーションの機会を多くもち、目的への思いを共有し、期待感を高めることが必要
- 難しく考えず、できることから始めてみようの姿勢
 - 上士幌町は「学校を知ろう」からスタート。まずは、お互い（学校⇔地域）を知る活動を中心に行うことが必要

「ゆめ育」 応援団の取り組み



実践

「ゆめ育」

応援団

北海道
上士幌町

「ゆめ育」 応援団の取り組み

○ 「ゆめ育」 応援団って？

→学校を核として、地域総ぐるみで子どもと関わり、
学び合っていく環境づくりを行うために、**自らの学
びや得意とすることを、子ども達へ還元**していこう
とする取組。

子どもには、新たな学びを
地域の方には、生きがいとなるような活動を

北海道
上士幌町

「ゆめ育」 応援団の導入方法について

※既存のしくみを上手に活用

北海道家庭教育サポート企業等制度（H18年～）

・ 道教育長と企業等が協定（HP）

・ **H30.8.10** 現在道内**2,361社**



～主な役割～

○地域行事への協力・支援

○学校行事への参加促進

○生活リズム向上の取り組み など

企業内教育＋社会貢献



「ゆめ育」 応援団の導入方法について

※既存のしくみを上手に活用

上士幌町の場合・・・

サポート企業の拡大（従前は**5社**）

→社会教育主事と校長が商工会等へ働きかけ



結果・・・

新規企業**20社**の協定に**成功**

→**合同協定式**を実施（場所：小学校図書室）



サポート企業合同協定式（H28.2.22）



「ゆめ育」応援団の導入方法について

※既存のしくみを上手に活用

○しかし、何かがたりない・・・

- 企業だけではなくグループ・サークル
だって「応援」できる
- 個人だっていいじゃない



「企業」 + 「サークル」 + 「個人」



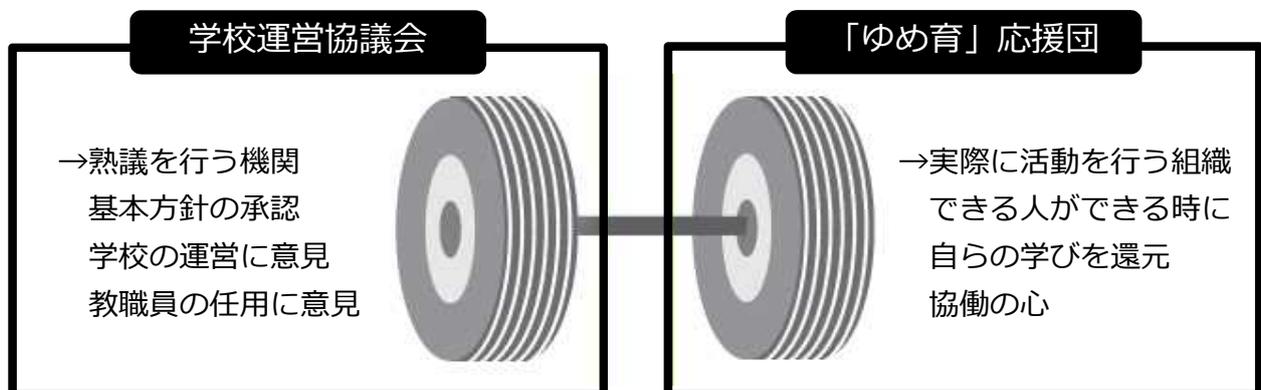
「ゆめ育」応援団

「ゆめ育」 応援団の実際の活動



上士幌町のコミュニティ・スクール

協議会の熟議と「ゆめ育」応援団の実践



協議会と応援団は“車の両輪”

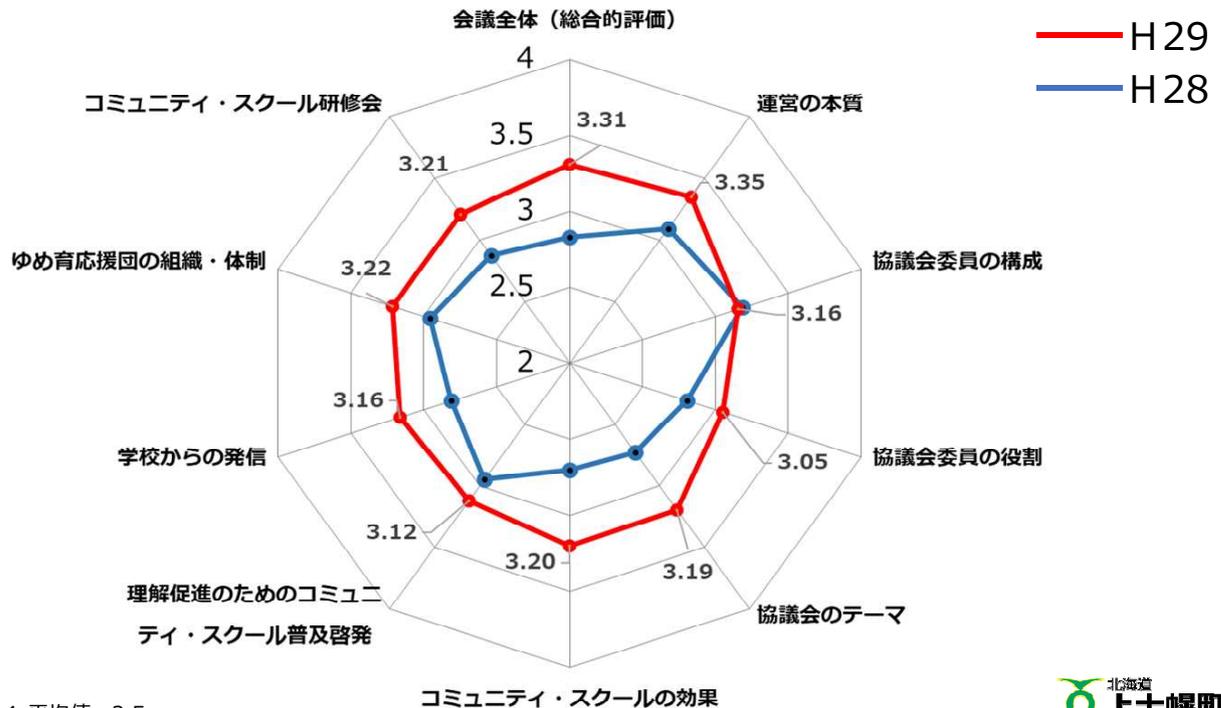
地域や学校の声聴き、運営に活かしていく

子どもたちのために何ができるのか、支え合いながら進めていく

コミュニティ・スクールの成果と課題

○成果（H29年度CS評価から）

H28年度よりCSに係る項目についてCS評価を実施しています。



コミュニティ・スクールの成果と課題

○課題

- 学校間（協議会間）の格差をなくす
→元々コミュニティが“ある”学校と“少ない”学校
- より多くの町民に理解を促す
→プレスリリース等による情報発信の強化
- さらに主体的な活動へ
→「やってくれて助かるよね」から「こんなことなら私にもできるかな、やってみようかな」へ意識の変換
- 協議会の成熟
→委員の意識や熟議を深化させていく

最後に・・・

- CSを進める上でのキーワードは「できる人ができる時に」
 - 地域の方も学校の教職員も負担にならないようなコーディネート（コーディネーター）が必要不可欠
- 子どもも地域の方も学校もWin-Winの関係性で進める
 - 子どもは、地域の様々な方とのコミュニケーションはもちろん、新たな体験からより多くの学びが生まれる。
 - 地域の方は、これまでの経験や自らの学びを活かすことができる。
 - 学校は、生の教材を使った授業の展開などに役立てられる。